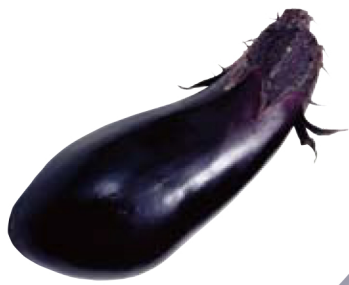


なすの病害防除



重要病害**すすかび病**は潜伏期間が長く、発病してからの後追い散布では防除は困難です。

促成栽培では定植1~3ヶ月後から発病し、3月頃にピークを迎えます。

促成栽培では12月からすすかび病防除予防スタート!



対策

促成栽培では、**ダコニール1000**を12月から定期散布し、**すすかび病**と**黒枯病**などを同時に防除しましょう。

耐性菌対策が必要です!

すすかび病



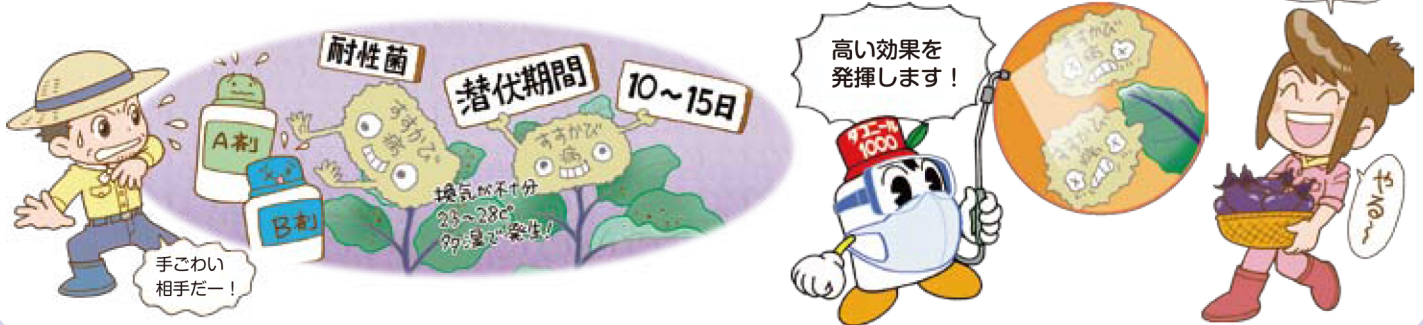
- 葉に発生。
- 中・下位葉の葉裏から発病し、多発すると落葉します。
- 耐性菌により防除の難しい病害です。

発生前~発生初期からの予防散布!



対策

すすかび病を抑えるには、菌密度が低い時期からの予防が必要です。常に葉裏を観察し、初発を見つけたら直ちに**ダコニール1000**で**予防散布**を始めましょう。他剤の**耐性菌対策**にも有効です。



写真原図:木曾 皓

この印刷物の記載内容は2014年8月末日現在のものです。

ダコニール 通信

【ダコニール1000 なすでの使い方】

- 散布剤としての適用病害:すすかび病、灰色かび病、黒枯病、うどんこ病
- 4回まで散布できます。

**ダコニール1000で
病気の同時防除&
耐性菌対策!**



ダコニールは株式会社エス・ディー・エス バイオテックの登録商標です。

●ラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。

ダコニール普及会

事務局  株式会社エス・ディー・エス バイオテック